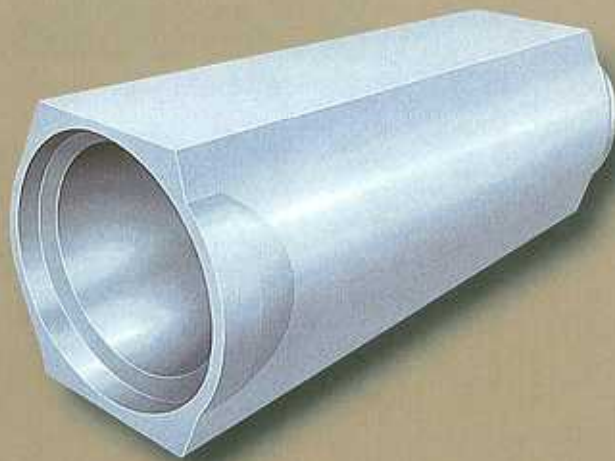




プレキャスト排水管

重 **圧** **管**

土被りが少ない場所でも優れた耐久力



® リウコ株式会社

■ 重圧管(1種・2種)

土被りが少ない場所でも、コンクリートによる巻き立てが不要な管渠製品で、道路横断部の排水管に最適です。

- 自動車荷重 T-250で土被りが少ない場所でも耐えるよう設計しています。
- 管体の上下部が平らになっているため、安定性が良く施工が簡単です。
- 管の継手部は、ヒューム管に準じた構造で、止水性に優れています。
- 据付け後、埋戻しを完了すれば、すみやかに交通を開始できます。
- 専用の基礎板(プレキャスト基礎コンクリート)を使用することにより、さらに工期が短縮できます。

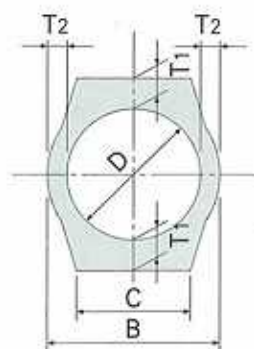
設計荷重 T-250

設計自動車荷重として従来用いられていたT-25に相当する表示として、便宜的にT-250を用いています。

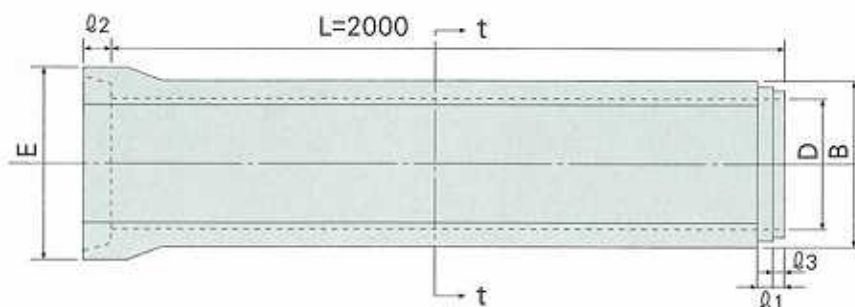


製品規格

t-t断面図



平面図



1種・2種共通

規格名称	規格寸法 (mm)										参考質量 (kg)
	D	T ₁	T ₂	B	C	E	φ ₁	φ ₂	φ ₃	控除断面積 (m ²)	
φ 150	150	62	40	230	162	274	75	70	32	0.0547	185
φ 200	200	62	40	280	198	324	75	70	32	0.0790	240
φ 250	250	64	40	330	234	378	75	70	32	0.1087	300
φ 300	300	68	42	384	272	436	75	70	36	0.1460	380
φ 350	350	72	44	438	310	494	75	70	36	0.1889	465
φ 400	400	80	50	500	354	560	80	75	36	0.2442	595
φ 450	450	88	54	558	396	626	80	75	36	0.3049	730
φ 500	500	94	58	616	436	688	80	75	36	0.3697	870
φ 600	600	100	62	724	514	800	85	80	36	0.5059	1120
φ 700	700	119	69	838	594	938	85	80	40	0.6859	1505
φ 800	800	123	76	952	674	1046	95	90	40	0.8693	1835
φ 900	900	134	83	1066	754	1168	100	95	40	1.0868	2255
φ 1000	1000	155	90	1180	840	1310	111	106	40	1.3510	2830
φ 1100	1100	167	110	1320	930	1434	115	110	42	1.6510	3505
φ 1200	1200	179	120	1440	1018	1558	119	114	42	1.9591	4145
φ 1500	1500	216	150	1800	1272	1932	127	122	42	3.0376	6355

注) 土被り条件は、許容土被り表をご参照ください。

注) 2種はひびわれを特に考慮するところに使用します。

許容土被り

重圧管(1種)許容土被り表[T-250]

(安全率1.25) 単位:m

規格名称	溝型	正の突出型(砂質土)	正の突出型(粘性土)
150	0.1~28.0	0.1~14.8	0.1~12.3
200	0.1~22.0	0.1~11.7	0.1~9.8
250	0.1~18.0	0.1~9.7	0.1~8.1
300	0.1~16.3	0.1~8.5	0.1~7.1
350	0.1~14.7	0.1~7.7	0.1~6.4
400	0.1~13.2	0.1~7.0	0.1~5.8
450	0.2~12.3	0.2~6.5	0.2~5.4
500	0.2~11.6	0.2~6.2	0.2~5.1
600	0.2~10.3	0.2~5.5	0.2~4.6
700	0.2~9.5	0.2~5.2	0.2~4.3
800	0.2~8.9	0.2~4.9	0.2~4.0
900	0.2~8.6	0.2~4.8	0.2~3.9
1000	0.3~8.5	0.3~4.8	0.3~3.9
1100	0.3~8.1	0.3~4.6	0.3~3.8
1200	0.3~7.9	0.3~4.6	0.3~3.8
1500	0.3~7.3	0.3~4.4	0.3~3.7

重圧管(2種)許容土被り表[T-250]

(安全率1.25) 単位:m

規格名称	溝型	正の突出型(砂質土)	正の突出型(粘性土)
150	0.1~41.0	0.1~21.0	0.1~17.8
200	0.1~32.0	0.1~16.8	0.1~14.1
250	0.1~27.0	0.1~14.1	0.1~11.8
300	0.1~26.0	0.1~12.2	0.1~10.2
350	0.1~21.0	0.1~11.7	0.1~9.2
400	0.1~19.0	0.1~10.0	0.1~8.4
450	0.1~17.8	0.1~9.3	0.1~7.8
500	0.1~16.8	0.1~8.9	0.1~7.4
600	0.1~14.8	0.1~7.9	0.1~6.6
700	0.1~13.8	0.1~7.4	0.1~6.2
800	0.1~13.0	0.1~7.1	0.1~5.9
900	0.2~12.5	0.2~6.8	0.2~5.7
1000	0.2~12.4	0.2~6.8	0.2~5.7
1100	0.2~11.8	0.2~6.6	0.2~5.5
1200	0.2~11.6	0.2~6.5	0.2~5.4
1500	0.2~10.8	0.2~6.3	0.2~5.2

施工要領

1 基礎砕石

砕石(C-40)を用いて施工を行ない、強固な基礎としてください。

2 基礎コンクリート(プレキャスト基礎板)

$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 以上のコンクリートを使用して、据付け面は、コテ等で平らに仕上げ、荷重が均等に作用するようにしてください。また、コテ仕上げ面の状態により、据付けスピードが異なります。据付け高さは、敷モルタル分の20mm程度低く施工してください。施工後すぐに埋戻しを行う場合は、基礎板(プレキャスト基礎コンクリート)を用いてください。

3 敷モルタル

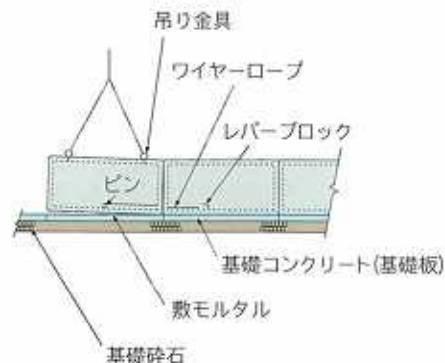
敷モルタルは基礎コンクリートの不陸を調整するために使用し、10~20mm程度施します。配合は、セメント1に対し、砂3の割合で、水を加えない空モルタルとしてください。

4 製品の据付け

据付けは、環境により作業半径が異なりますが、製品質量の3倍くらいの規格の重機を使用します。据付け方向は下流から上流へと設置します。



注) II型の基礎板を施工する際は、0.5t用のフックを使用してください。



注) レバーブロックはφ800以上のサイズに使用します。

5 接合

継手部にはゴムリングを使用しています。滑剤等を押し口、受け口に塗布し、レバーブロック等で引き寄せて接合してください。

6 埋戻し

埋戻し、盛土のとき、過剰な土圧が作用しないように、頂部、側部は特に良質土を用いて、層の厚さを200~300mmずつ施工し、ランマー等で十分に突き固めてください。

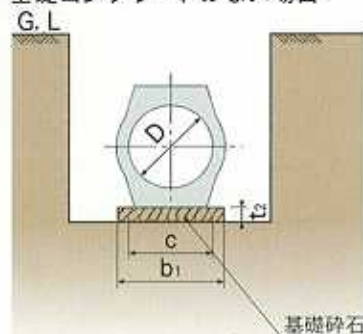
7 完了

完了検査を実施。

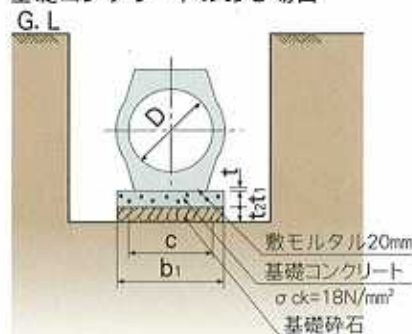


標準敷設寸法(1種・2種共通)

基礎コンクリートのない場合



基礎コンクリートのある場合



注) 基礎材料(基礎コンクリートの有無など)については、車輛通行形態等の現場状況に応じて検討してください。



控除断面積

規格名称	基礎寸法 (mm)					敷設材料 (10m当り)				控除断面積 (m ²)
	c	b ₁	t	t ₁	t ₂	敷モルタル (m ³)	基礎コンクリート (m ³)	基礎碎石 (m ³)	基礎型枠 (m ²)	
φ 150	162	360	20	100	150	0.032	0.360	0.540	2.00	0.0547
φ 200	198	400	20	100	150	0.040	0.400	0.600	2.00	0.0790
φ 250	234	430	20	100	150	0.047	0.430	0.645	2.00	0.1087
φ 300	272	470	20	100	150	0.054	0.470	0.705	2.00	0.1460
φ 350	310	510	20	100	150	0.062	0.510	0.765	2.00	0.1889
φ 400	354	550	20	100	150	0.071	0.550	0.825	2.00	0.2442
φ 450	396	600	20	100	150	0.079	0.600	0.900	2.00	0.3049
φ 500	436	640	20	100	150	0.087	0.640	0.960	2.00	0.3697
φ 600	514	810	20	100	150	0.103	0.810	1.215	2.00	0.5059
φ 700	594	890	20	100	150	0.119	0.890	1.335	2.00	0.6859
φ 800	674	970	20	100	150	0.135	0.970	1.455	2.00	0.8693
φ 900	754	1050	20	100	150	0.151	1.050	1.575	2.00	1.0868
φ 1000	840	1140	20	100	150	0.168	1.140	1.710	2.00	1.3510
φ 1100	930	1230	20	150	200	0.186	1.845	2.460	3.00	1.6510
φ 1200	1018	1320	20	150	200	0.204	1.980	2.640	3.00	1.9591
φ 1500	1272	1570	20	150	200	0.254	2.355	3.140	3.00	3.0376

※上表の寸法は目安ですので、現場条件に応じて変更してください。

据付け歩掛り(1種・2種共通)

(10m当り)

規格名称	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	ラフテレーンクレーン運転 (日)	基礎碎石比率 (%)	諸雑費率 (%)
φ 150	0.2	0.1	0.4	2.1	-	16	6
φ 200							
φ 250							
φ 300							
φ 350	0.3	0.2	0.6	2.7	-		
φ 400							
φ 450							
φ 500							
φ 600	0.4	0.3	0.9	3.5	-		
φ 700							
φ 800							
φ 900							
φ 1000	0.6	0.4	1.2	-	0.5		
φ 1100							
φ 1200							
φ 1500						0.8	0.5

注1) バックホウの規格は「排出ガス対策型・クローラ型 クレーン機能付 山積0.45m³ (平積0.35m³) 2.9t吊」とします。

注2) ラフテレーンクレーンは賃料とし、規格は「排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型 25t吊」を標準とします。

注3) 基礎コンクリートのある場合は、別途計上してください。

適用基準：平成16年度 国土交通省 土木工事積算基準

※φ150、φ1500は、上記基準を参考に当社実績に基づき定めています。



〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187番地
TEL. (098) 945-3778 FAX. (098) 945-5065
URL <http://www.riukon.co.jp>